



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

NPO 電子自治体アドバイザー・クラブ
法人 e-AAC

第 32 号

2024 年 10 月 発行

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<https://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

ゲームをプログラミング

第2部会では、小学校児童に対し、プログラミングを教えています。その中で、多くの児童が興味を持っているゲームをプログラミングすることも行っています。

ゲームをプログラミングすることで、最も期待されることは児童の創造力を向上させることです。

ゲームでは、自分が考えたことの多くを実現することができます。ただし、実現は簡単ではありません。

ゲーム作成は、次の様なステップで行われます。それぞれのステップで様々な能力を向上させることができます。

- ① ゲームのアイデアを考える
- ② ゲームのアイデアを具体的にシステムとして考える
- ③ ゲーム作成に必要なツール(プログラム)を準備する
- ④ ゲームに使う画像や音声などの素材を準備する
- ⑤ プログラミングする
- ⑥ テストプレイする
- ⑦ 完成

①は最も重要で、無から何かを生み出すようなところがあります。ゲームは、競うことが基本にあります。何を競うかを決める必要があります。あることを成し遂げるまでの時間を競うのか、より多くの点数を取ることを競うのかということを決めます。

②では、①で出てきたアイデアをゲームの中の動きなどに具体化します。具体化をより細かくすることで、ゲームの構成が見えてきます。

③は、ビジュアルプログラミング言語である Scratch を使用することで、対応をしています。Scratch は、ブロック形式でプログラミングができるために、小学校低学年の児童であっても簡単にプログラミングすることができます。

④は、Scratch に用意されているものを使用することで、準備の負担を軽減します。Scratch にはスプライトと呼ばれるキャラクターが用意されていて、これらを使用してプログラミングをすることができます。また、児童が独自のスプライトを作成することも可能です。音についても簡単に出すことができる命令が用意されています。

⑤では、②で考えた動きをプログラムします。動きをプログラム

するためには、どのような命令が Scratch にあるかを知っていなければなりません。ゲームのアイデアを、プログラムすることが難しい場合があります。そのような場合には、すでにあるゲームで同じようなことをしていないか探して、そのやり方を参考にするのも解決方法になります。

⑥テストプレイをしてみると、期待していたように動かないプログラムの誤り(バグ)が発生することがあります。バグを修正し正しく期待している通りの動きにすることは、プログラミングのスキルを向上させるのに大いに役立ちます。バグの原因を見つけ出すためには、プログラムに向かい合っって誤りの原因を発見しなければなりません。原因を発見したら、それを修正するプログラムをしなければなりません。プログラムは、論理的に作られています。その論理が破綻しているから、バグが発生するのです。バグを修正するためには、論理的に考える力が必要になり、それが養成されることとなります。

また一方、そのバグがゲームを面白くするヒントになるかもしれません。このようなことを考えることも必要です。

児童を指導する場合には、前述したことができるスキルが必要になります。特に、バグを発見し、その修正を行うことができるスキルが必要です。

多くの児童とプログラミングしていると、様々なバグが発生します。児童からバグの相談を受けた場合にその場で解決できない場合もあります。その場合には、もっとプログラミングのスキルを向上させなければいけないと痛感させられます。

児童がバグを潰し、当初考えていたゲームができると、その達成感是非常に大きいと思います。成功体験が児童を次のステップに向かわせることになると思います。

ゲームをプログラミングすることで、児童が成長していきます。その一助を担えるような講師を目指したいと思います。



第2部会長 中野成能

トピックス!

1. 天理市 DX 推進人材育成研修会の開始

天理市の委託を受け、デジタル人材の育成に取り組む。

2. 新規に自治体での活動開始

広陵町、大和郡山市に対し、子供向け講座を実施。今秋も継続。三郷町は前期より継続し、11/27-12/18 にかけスマホメンター育成講座を実施予定。

3. Grafsec 第 9 回連絡会を開催

8月25日 TVC にて実施、eAAC は近畿ブロックにて参加

4. 第 2 部会新講座開講

Grafsec 助成を受け「Python プログラミング講座」を生駒市立緑ヶ丘中学にて初めて開講した。

5. 奈良市 NPO・ボランティア団体パネル展

- ・2024 年 6 月 1 日～6 月 28 日
- ・会場:奈良市ボランティアインフォメーションセンター
- ・展示内容:行政 DX の取り組み
パソコン、スマホ教室
子ども向けプログラミング教室



6. みんなのページ

5 ページ目をご覧ください。

7. 生成 AI 活用セミナーの開催

- ・開催日:2024 年 12 月 6 日
- ・会場:奈良県産業会館
- ・参加費:無料
- ・対象:自治体職員

参加を希望される方は
6 ページ目をご覧ください。

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

1. 自治体会員への『ちょっとアドバイス』

e-AAC の自治体会員を定期的に巡回訪問して、自治体が抱えている課題についてアドバイスを行っている。

(1) 令和6年度実施状況(2024年4月～8月)

- 自治体会員
天理市、下市町、明日香村
- 訪問回数合計:15回
- テーマ数合計 26件

(2) 主なアドバイス分野(2024年4月～2月)

| 分野 | 件数 |
|----------|----|
| 行政システム関係 | 12 |
| 地域サービス | 1 |
| テクノロジー | 10 |
| その他 | 3 |
| 合計 | 26 |

(3) ちょっとアドバイスの主なテーマ

■ 行政 DX・デジタル政府関係

- ・自治体 DX とは？ 先進事例や地方が抱える課題
- ・自治体 DX・情報化推進概要
- ・令和5年度地方団体における行政情報化の推進状況
- ・全国自治体のフロントヤード改革度ランキング 2024
- ・自治体における Microsoft 365 の利用時の検討事項
- ・ガバメントクラウドとは？
- ・Windows11 に移行すべき？ メリット デイメリット
- ・職員研修で重要な OJT と Off-JT
- ・神戸市プロンプト事例集
- ・横須賀市の「ChatGDP の全庁的な活用実証結果報告」
- ・戸田市の「ChatGDP 等の生成 AI ガイド」
- ・DX(意識革命からニューノーマル) 坂村健著書

■ 地域サービス

- ・流山市ブランディングプラン

■ テクノロジー

- ・生成 AI とは？
- ・生成 AI サービスの導入検討提案 1, 2, 3
- ・みんなが学びたいプログラム言語10
- ・自治体の IT リテラシーを高める教育とは？
- ・生成 AI 活用セミナー 企画書
- ・生成 AI サービスの無料版と有料版の違い
- ・IT/半導体業界の大変革
- ・人気の高い定番の「Chrome」と多機能な「Edge」
- ・動かないコンピューター
- ・Chrome と Edge どっちを選ぶ？

■ その他

- ・消滅可能自治体「人口戦略会議」報告書の分析
- ・生成 AI セミナーのチラシ
- ・スタンフォード式のデザイン思考

2. 自治体 DX 推進の支援

(1) 天理市

① DX 推進リーダー育成事業

天理市の方針：3ヵ年計画として、DX 人材育成プログラムとして、4つの分野を立案し、e-AAC は、その内の1つ「DX 推進リーダー育成研修会」として、令和6年度は9回実施することになった。

- 第1回 5/24 社会の変化
- 第2回 6/27 顧客・市民が求める価値の変化
- 第3回 7/31 DX とは、DX に必要なスキル
- 第4回 8/28 AI とは、生成 AI とは、活用事例
- 第5回 10/30 データ・デジタル技術活用事例
- 第6回 11/27 セキュリティ・モラル、コンプライアンス
- 第7回 12/25 住民主役、業務改革、討議
- 第8回 1/29 DX 推進人材育成プログラム作成
- 第9回 2/19 まとめ

② 市民向け講座 (パソコン、スマホ、インターネット等)

- 天理パソコン初級教室:上期、下期 とも各6回
- 天理パソコン中級教室:3回コース 2回

(2) 明日香村

令和6年度 ICT リテラシー向上関連講座

- 村民向けスマホ講習会
 - ①村民スマホ講習会
 - ②村民向け何でも相談
- 職員向けパソコン講習会
 - ①職員向けワンポイントアドバイス
 - ②職員向け Excel 基礎講習会
 - ③職員向け何でも相談
- ちょっとアドバイス関連、情報提供・意見交換を行った。
- こどもゆめ基金助成事業
 - ①6/15 「プログラム体験講座」を実施した。
 - ②9/21 「パソコン分解講座」を実施した。

(3) 下市町

- 業者見積の精査・助言
 - ①住基ネットの業者見積の精査・助言
 - ②住基ネットシステムの業者見積の精査・助言
- 2025 年標準システム推進状況について情報共有
- ちょっとアドバイス関連
 - ・情報提供・意見交換を行った。
- 10/26 子ども向け「プログラミング体験講座」

3. 8月25日 第9回 Grafsec 会員連絡会

- 全国会員の相互理解と交流の場
- Web 会議:全国会員を6つのブロックに分けて、小グループ討議を実施
- e-AAC は近畿ブロック



「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

児童・生徒を対象に、パソコンの講座やインターネット・リテラシーの講演等の活動を行っている。

1. 奈良県青少年社会活動推進課委託事業

県からの要請に基づき学校へ出向き、インターネット・リテラシーの講演を行っている。

| | | | | | |
|---|------|------------------|---|------|----------------|
| 1 | 5/29 | 天理教保育土育成 白梅寮 | 2 | 6/18 | 香芝市立 三和小学校 |
| 3 | 7/1 | 御所市立 大正中学校(*) | 4 | 7/2 | 奈良市立 京西小学校 |
| 5 | 7/11 | 生駒市立 光明中学校 | 6 | 7/12 | 田原本町立 北中学校 |
| 7 | 8/28 | 天理市立 福住小中学校 | 8 | 9/25 | 生駒市立 桜ヶ丘小学校 |

(*)大雨警報のため中止

学校は、児童生徒をインターネットのトラブルから守りたいとの要望から講座開催を希望されている。

インターネットのトラブルは、都会とか田舎とか関係なしに発生しているので、どこでも注意が必要である。



2. 草の根サイバーセキュリティ推進協議会

草の根サイバーセキュリティ推進協議会(Grafsec)の助成を受けて、新しく生駒市立緑ヶ丘中学校にて「Python プログラミング講座」開講した。本講座は、緑ヶ丘中学校の活動を支援する緑中協力隊の協力により開講した。

開催日(計2日)

| 学校 | 開催日 |
|------------|------------|
| 生駒市立緑ヶ丘中学校 | 8/19, 8/20 |

講座では、「インターネット・リテラシー学習」と「PythonでMicrobitのプログラミング」を実施した。

「インターネット・リテラシー学習」では、インターネットの脅威やその対策を具体例で学習した。

「Microbitのプログラミング」では、Microbitに搭載されているセンサーを活用したプログラミングに取り組んだ。



3. 学校支援

学校からの要請に基づき、パソコンクラブの活動支援を行っている。

| | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | 佐保台小学校 パソコンクラブ | 6/5, 7/3, 10/2, 11/6, 1/15, 2/5 (全6回) |
| 2 | 生駒東小学校 パソコンクラブ | 5/24, 6/21, 7/5, 9/20, 11/29, 1/31, 2/14 (全7回) |

両校とも Scratch によるゲーム作成を行っている。後半はボードコンピュータMicrobit を用いてセンサーを活用したプログラムの作成を予定している。

ゲーム作成では、ゲームを面白くするアイデアの創出を行い、それをプログラムに落とし込む考え方を身に付けることを狙っている。



4. 子どもゆめ基金事業

例年公民館等を会場として、地区の小学校児童を対象にプログラミングを中心とした講座を開講している。

2024年度は、新しく大和郡山市三の丸会館と広陵中央公民館を会場として2講座ずつ開講することを進めている。

小学校の2・3年生を対象としたプログラミング体験講座は、どの回も申し込みが多く、6/22 広陵中央公民館と7/28 登美ヶ丘公民館では、午前と午後と2回開講した。

また、子どもゆめ基金講座に保護者の関心が高く、多くの参加があった。

| プログラミング体験講座 | | | | | |
|-------------|-------|-----------------------|---|------|----------------|
| 1 | 5/11 | 奈良市立 大宮小学校 | 2 | 5/18 | 生駒市立 生駒東小学校 |
| 3 | 6/15 | 明日香村立 中央公民館 | 4 | 6/22 | 広陵中央公民館 |
| 5 | 7/28 | 奈良市立 登美ヶ丘公民館 | 6 | 9/28 | 大和郡山市 三の丸会館 |
| 7 | 10/26 | 下市町 農業環境改善 センター | 8 | 8/5 | 奈良市立 平城公民館 |

| パソコン分解を通じてハード・ソフト・ネットを学ぶ講座 | | | | | |
|----------------------------|------|----------------|---|------|-----------------|
| 1 | 5/26 | 奈良市立 平城公民館 | 2 | 7/6 | 生駒市立 生駒東小学校 |
| 3 | 9/21 | 明日香村立 中央公民館 | 4 | 11/2 | 奈良市立 登美ヶ丘公民館 |

| プログラミングでロボット制御を学ぶ講座 | | | | | |
|---------------------|------|----------------|---|-------|-----------------|
| 1 | 10/5 | 奈良市立 三笠公民館 | 2 | 10/19 | 奈良市立 平城公民館 |
| 3 | 11/9 | 生駒市立 生駒東小学校 | 4 | 11/23 | 奈良市立 登美ヶ丘公民館 |

| ロボットカーの製作とプログラミング体験講座 | | | | | |
|-----------------------|-------|----------------|---|-------|----------------|
| 1 | 11/12 | 広陵中央公民館 | 2 | 11/16 | 大和郡山市 三の丸会館 |
| 3 | 12/7 | 奈良市立 三笠公民館 | 4 | 1/18 | 奈良市立 平城公民館 |
| 5 | 2/15 | 生駒市立 生駒東小学校 | — | — | — |

| ボードコンピュータでプログラミングを学ぶ講座 | | | | | |
|------------------------|------|-----------------|---|-----|---------------|
| 1 | 1/25 | 生駒市立 生駒東小学校 | 2 | 2/8 | 奈良市立 平城公民館 |
| 3 | 2/22 | 奈良市立 登美ヶ丘公民館 | — | — | — |

「第3部会」からの報告 スマホ・パソコン教室

スマホは主にシニア向けに、パソコンは学生、市町村の職員、主にシニア向けに実施しており、受託事業と自主事業の二本立てで推進中。

特にスマホについては、スマホが世の中に浸透していく中で、シニア向けのスマホの使い方支援が非常に重要な課題になってきている。

■ 受託 パソコン・スマホ教室

1. 奈良県市町村職員パソコン研修

奈良県の全市町村の職員を対象に、本年度は昨年に比べてアクセス応用が1講座増え合計5講座実施。

| コース名 | コース数 | 日程 | 定員 |
|------------|------|----------|-----|
| エクセル応用 | 2 | 11/11-12 | 30名 |
| | | 11/14-15 | 30名 |
| アクセス基礎 | 1 | 11/18-19 | 30名 |
| エクセル応用とマクロ | 1 | 11/21-22 | 30名 |
| アクセス応用 | 1 | 11/25-26 | 30名 |

2. 奈良市企業局職員 PC 研修

本年度で5年目を迎え、奈良市企業局の職員のパソコン操作スキルアップのための下記6講座実施した(合計21名の参加)。パワーポイント基礎、アクセス応用本年度初めて開催。

| 実施回 | 内容 | 日程 | 受講者数 |
|-----|-----------|---------|------|
| 第1回 | アクセス基礎 | 6/27-28 | 5名 |
| 第2回 | アクセス応用 | 8/7-8 | 3名 |
| 第3回 | パワーポイント基礎 | 8/19-20 | 5名 |
| 第4回 | エクセル応用 | 8/22-23 | 5名 |
| 第5回 | マクロとVBA | 8/26-27 | 4名 |
| 第6回 | ワード応用 | 8/29-30 | 4名 |

3. NAFIC パソコン講座

奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校(通称 NAFIC)から委託を受けて、5~6月に2年生を対象に実施。9~10月は1年生を対象に実施中。



| 対象 | 期間 | 内容 | 定員 | 回数・日時 |
|-----|-----------|----------|-----|----------------|
| 2年生 | 5/2~6/27 | エクセル、PP | 20名 | ・各8回 ・毎週木曜日 |
| 1年生 | 9/5~10/31 | ワード、エクセル | 20名 | ・13:00~16:10 |

4. 天理市パソコン教室(初級コース)

天理文化センターでシニアの初心者を対象に上期は7/19~8/9に実施(13~15名)。下期は11/20~12/6を予定(各6回コース)。

5. 天理市スマホ教室

天理文化センターで主にシニアを対象に上期(9/12~26、17名の参加)、下期(1/22~2/12)に分けて実施予定(各3回コース)。

6. 高田市スマホ講座

本講座は2017年度から高齢者の健康年齢を上げることを目的として高田市市民交流センターから委託を受けて継続して開催中。

従来の12回/年を本年度は前期・後期に分け、各6回コースに変更して実施中です。約30名の受講者に対して、サポーター養成講座を受講したOB約10名がサポーターとして参加。

7. 高田市スマホサポーター養成講座

地域でスマホを指導できる人材の育成を目的として、高田スマホ講座のサポートを実践できるように、スマホ講座のOBが1週間前と同じ内容の講座を受講(各回約10名が参加)。

8. 明日香村スマホ教室

第1部会と共同で明日香村スマホ教室を8月に実施(7/4~22、全4回、10-13名の参加)。

9. 三郷町スマホメンター養成講座

スマホの分からないシニアが気軽に相談できる人材(メンター)の育成を目的として、11/28~12/17に開催予定(5回コース)。各回、午前がメンター向けの講座、午後は一般受講者を対象に講座を開催しサポートの実践を図る。

10. 経済倶楽部スマホ教室

奈良県経済倶楽部から委託を受け主に奈良県のシニアを対象に上期に(6/19~7/31)基礎コースとして実施(4回コース、16名参加)。下期(1/9~2/20)は応用コースを開催予定(4回コース)。

11. シルバー人材センタースマホ教室

奈良市シルバー人材センターから委託を受け、同センターの登録者を対象にアンドロイドに限定してスマホ教室を実施(6/12~7/24、4回コース、各回10名の参加)。一般的な内容に加え、登録者が請け負った仕事をスマホで登録する方法なども学習。



■ e-AAC スマホ・パソコン教室(自主事業)

e-AAC 主催の教室で、市の広報誌に受講案内を掲載することにより受講生の確保を図っている。

1. 高田教室: 大和高田市産業会館(水曜日)

中級者向けにパソコン教室を産業会館で、午後は何でも相談を中央公民館で、上期・下期、各12回実施中(2回/月、上期は各回約20名参加)。



2. 学園前教室: 奈良市西部公民館(木曜日)

初心者を対象にスマホ基礎コースを年に3期に分けて実施中(4-6月、9-11月、1-3月、各期は6回コース)。アンドロイド限定で、高齢者を中心に分かりやすい内容にして実施中。

3. 天理中級教室: 天理市民会館

天理中級教室は天理市パソコン教室(初級コース)の受講者のスキルアップを図ることを目的に、上期は9/2~10/17、下期は1/10~30に実施中(各6回コース)。

「みんなのページ」 会員のみなさんからの投稿

e-AAC 会員のみなさんが投稿するページです。投稿をお待ちしています。(文字数:600~800 文字程度)

「私のシニア活動について」

理事 河田



私は、10数年前に「大和再発見の会」を立ち上げ、シニアを対象に、テーマとして奈良県下の隠れた(マイナーなところ)、街道・古墳・神社・仏閣・史跡・里山等色々な伝説や謂れなど現地に出かけて、現地の人より説明を受け、奈良(大和)の魅力を、2ヶ月に1回程仲間と楽しく探して歩き奈良(大和)を再発見しています。また、奈良(大和)の歴史や文化等についても皆で楽しく学んでいます。探索の行先は奈良県内に拘り、一歩たりも奈良県内を出ない事にしています。

例えば、大仏鉄道跡の散策にした時も加茂(京都府)へは、行かない等、奈良県内に拘った活動です。最近では、参加者の皆さんも高齢者になり、歩くのが大変で4Km~6Kmのコースがきつくなり、歩く距離が増えると参加者が減少して来ます、奈良(大和)を再発見し散策(探索)すると言うより食事会がメインになって来て大和再発見と言うより、大和食事会の様になっておりますが、まだまだ皆さん元気に大和再発見の会に参加頂いております。

<主な散策先の一部>

- ① 室生龍穴神社を訪ねて! ② 大和五條新町と天誅組の足を訪ねて! ③ 平群町内の城跡を訪ねて!
- ④ 正暦寺の菩提酛清酒祭を訪ねて! ⑤ 御所市内の古墳群を訪ねて! ⑥ 御杖村の半夏生を訪ねて!
- ⑦ 奈良の文豪の足跡を訪ねて! ⑧ 吉野の宮滝を訪ねて! ⑨ 茶筌の里(高山)を訪ねて!
- ⑩ 薬師寺東塔の改築工事現場を訪ねて! ⑪ 奈良の街並(五條新町)を訪ねて!
- ⑫ ぼつくり寺の「吉田寺」を訪ねて! ⑬ 奈良の遺構(亀の瀬)を訪ねて! 等です。

以上の様に、奈良県下でもマイナーな処を、ガイドに載っていない事について現地の人より、説明を受けることを主体に活動している、グループです。

今後の活動に於いて、交通機関はシニアですのでマイカーは避けて「電車」・「バス」等が主体の為、候補地に苦慮しています。

「競技ダンスを楽しむ!」

会員 内田



e-AAC へは、河田さんからお誘いを受けたところから始まります。確か「山仲間」という山歩きのグループに河田さんがおられ私の妻もいたのでシャープ仲間とわかり声がかかりました。

当時の多田事務局長との面談で事務所担当を仰せつかり、現在に至ります。

私は、パソコンが普及する前の当時業務効率化の旗が振られていた本社コンピュータ部門に配属され大型汎用コンピュータのプログラミング、システム開発とその運用部門を経験してきました。思い出を上げるとすれば「構成表システム」をIBMマシンへ切替えたこと、販売会社の請求回収システムに消費税導入と割戻金の条件拡大、それに西暦2000年問題でしょうか。研修や会議で出向くIBM社のビルは、コーヒーサーバーがある明るいフロアでしたので、もがきながらもホットすることができました。

当時は汎用コンピュータが高価であったため、西暦年を2桁でシステムづくりをしていたことから、99年から00年に変わる際に誤作動を起こす可能性がありました。これを改修し、年末から会社に泊まり込み2000年の元旦2日と問題が発生せずフォローを終えて仲間と喜び合ったことも良い思い出です。

話は変わって、私の趣味は競技ダンスです。社交ダンスとは違い成績によりA~Dの持ち級があり、私は固定パートナーとペアを組んでスタンダードとラテンの両方を踊ります。新型コロナウイルスが発生する前は、スタンダードA級、ラテンB級の成績を収めていました。しかし、パートナーの故障や彼女の母の介護などで、この5年間は練習ができず、競技会にも出れなかったのが今年スタンダードC級とラテンD級にランクダウンしています。パートナーは60代、私は70代になりましたが、音楽に乗って踊る楽しさに年齢は関係ありません。彼女も時間が取れるようになってきたので再出発を目指して、これからも楽しく踊っていきたくと思います。

「事務局」からの報告

生成 AI 活用セミナーの開催要領

■ 開催趣旨

少子高齢化の進展に伴い、労働力不足が深刻化し、不確実で複雑な環境変化に対応しながら新たな価値を創造する変革が求められています。その切り札が「デジタル化」であり、攻めのDXが必要です。

生成 AI をはじめデジタル技術を最大限に活用し、新たな価値を追求する方向に大きく舵を切る、2024 年はまさにそのタイミングの年にしなければなりません。生成 AI の登場がもたらす社会の変容と課題に対して、チャンス積極的に捉え、自治体における生成 AI の活用方法について、理解を深めるためのセミナーです。

■ 開催日時

・2024 年 12 月 6 日(月) ・受付 13:00・講演 13:30～16:45

■ 会場

奈良県産業会館（奈良県大和高田市幸町 2 番 33 号）

■ 参加費

無料

■ 参加してほしい方

AI に関心のある自治体の管理職、IT 担当者、及び、DX に取り組んでいる方々

■ 定員：30 名

■ 後援：奈良県

■ 主催

特定非営利活動法人 電子自治体アドバイザー・クラブ

■ 講師

- **メイン講演**：奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授 小山正樹氏
テーマ:生成 AI を支える技術とその社会的影響
- **奈良県自治体の取組み**：
奈良県デジタル戦略ディレクター 渡邊 保氏
テーマ:生成 AI 導入における自治体の課題と解決策
- **生成 AI 活用事例-1**：NTT 西日本株式会社 奈良支店 ソリューション担当 山瀬好春氏
テーマ:NTT 西日本グループにて現在提供中の AI サービスについて
- **生成 AI 活用事例-2**：富士通 Japan 株式会社
①ソリューショントランスフォーメーション本部 小林司氏
テーマ:生成 AI の実践事例とその課題
②インフラテクノロジーサービス事業部 松川博行氏
テーマ:エンジニア視点で見る生成 AI プラットフォームの選択指針
- **パネルディスカッション**：5 人（登壇者:講師の方々）

■ 生成 AI でできること

- 文章生成:企画書、レポート、広報資料など
- 画像生成:イラスト、写真、グラフなど
- 動画生成:説明動画、PR 動画など
- 音楽生成:BGM、効果音など
- 翻訳:多言語翻訳
- コード生成:プログラミング etc



■ 参加申し込み先

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザー・クラブ
申し込みは QR コードから



★編集後記★

設立21年目に突入し、2024 年は DX 人材育成・AI 活用という新たなキーワードを武器に一歩踏みだせる年になっています。2024 年度も素晴らしいトピックスの数々を、「会報わかくさ」33号として掲載・発刊できるよう皆さんと頑張っていきたいと思えます。

(e-AAC 編集部)

e-AAC 会員募集

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。個人・企業・団体・機関の会員を増やします。事務局までご連絡ください。

◎ **正会員・個人会員・賛助会員・自治体会員**

Tel/Fax: 0742-36-8520

e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp

協賛団体



電友会奈良支部



発行

特定非営利活動法人

電子自治体アドバイザー・クラブ(e-AAC)

編集：e-AAC 編集部

ご連絡先 e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp

ホームページ: <https://eaac.sakura.ne.jp/>